

「成人向け同人誌」についてのお願い

プリンティングイン株式会社／PICO

個々の方にはかねてよりお願いしておりましたが、成人向けの同人誌について当社の受注基準を作成しました。

同人誌は、ご自分の作品を冊子にして多くの人に手に取っていただき、楽しんでもらったり、評論していただいたりする自費出版活動です。その活動は、作品を多くの人たちに公にして配布するのですから、当然にも制作者としての責任が自動的に発生します。特に成人向け同人誌については「出版物作成」に伴ってくる社会的責任を曖昧にしますと、不当な誤解を受けたり、その誤解にもとづく社会的制裁を受けたりするかも知れません。

社会人としての自覚にもとづいて、当社の提示する以下の事柄について考え、理解し、実行していただくようお願い申し上げます。

A) 表紙に「成人向け同人誌」であることを明確に表示して下さい。

この表記は「入ってれば良い」という問題ではありません。明確に「未成年の方にはお売りできません」というきちんとした作者の意思表示です。その意味で、誰にでもすぐに成人向けということが理解できるように表記してください。PICOは日本同人誌印刷業組合ホームページで提供されているマーク利用を推奨します。(http://www.doujin.gr.jp/mark.html)

それ以外に案出したマークでも良いですが、デザインに埋もれてしまっている表記、裏表紙に入れている場合、独特で難解な書体表記等はその役割をなしていないことを理解してください。

B) 「奥付」を入れてください

最近「奥付」を入れてない同人誌が見かけられます。これもまた、社会的責任を負う同人誌活動にとってあってはならないことです。責任の所在の明確化はどうしても必要です。

一般的奥付としては、発行年月日、発行者名と連絡先、発行経過としての印刷会社名等は必須の項目ですが、昨今では「個人情報」を守る意味から本名とか住所は直接表記しません。

そこで、同人誌については以下の項目の記入をお願いいたします。

- ・「発行年月日」
- ・「ペンネーム」と「メールアドレス又はホームページURL」
- ・「印刷会社 PICO」

これで、作者に連絡したい読者等はメール或いはウェブにアクセスすることによってコンタクトができます。またPICOに連絡していただいても作者の意向をお聞きしつつ仲介してさし上げることは可能です。この事は、一般商業誌の場合に出版社に連絡し、もって著者に連絡が可能であるということと同じに考えても良いと思います。もちろん同人誌ですから、これはあくまでも最後の手段です。

また「本誌は成人向けです。未成年の閲覧・購入はお断りします」という言葉を添えるのは貴方の姿勢を明記していて良いと思います。

C) 画像の修正作業について

どこまで修正したらよいかは、ストーリーの性格、修正すべき画像の全体に占める重要性、モノクロかカラー印刷か？等々、多様な評価点があるので何とも言えません。

PICOは基本的に「コミケット基準」にもとづいて修正をいたします。

ただ重要なことは「修正意志を明確に表現する」ことです。ワイセツか否かの判断は貴方がするものではなく社会的な判断です。この社会的判断に対しては、曖昧な修正方法やごまかしの含みを入れた脚色修正方法はなんの有効性もありません。はっきりと「黒」で修正するのが基本です。それ以外の修正方法でも一律に否定はできませんが、透けているなど、その目的から離脱していると思われる方法は認めることができません。

以上、よろしく願いいたします。